

平成30年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	少	やや少
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	やや少
	コナジラミ類	やや少	やや少
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類	並	並
	ハモグリバエ類	やや少	やや少
レタス	灰色かび病	並	やや多
	菌核病	やや少	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	少	少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病 (注意報第5号)	多	多
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	少	少
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや多	やや多

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.7%、発生圃場率16.3%)。

イ 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は少ない見込みであり、本病の発生に好適である。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発病葉率は4.6%(4.4%)、発生圃場率は18.2%(44.5%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、発生圃場率3.2%)。

4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.8%、発生圃場率14.4%)。

5. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(11筆)の結果、発生を認めなかった(寄生葉率0.6%、発生圃場率24.9%)。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.7%(0.1%)、発生圃場率は16.7%(17.0%)であった。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は1.3%(1.6%)、発生圃場率は41.7%(33.8%)であった。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.0%(0.4%)、発生圃場率は8.3%(10.5%)であった。

レタス

1. 灰色かび病

- (1) 予報内容
発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠
ア 12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.8%)。
イ 向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。
- (3) 防除上注意すべき事項
ア 被害茎葉は早めに除去する。
イ ハウス・トンネル栽培では多湿にならないよう管理する。

2. 菌核病

- (1) 予報内容
発生程度 並
- (2) 予報の根拠
ア 12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.0%(0.2%)、発生圃場率は13.3%(21.7%)であった。
イ 向こう1か月の降水は平年並か多い見込みであり、本病の発生に好適である。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

- (1) 予報内容
発生程度 少
- (2) 予報の根拠
12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(6.7%)、発生圃場率は8.3%(43.9%)であった。

いちご

1. うどんこ病

- (1) 予報内容
発生程度 並
- (2) 予報の根拠
12月前期の巡回調査(27筆)の結果、葉での発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率1.4%)。また、果実での発生も認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

2. 灰色かび病

平成30年12月17日付け、病害虫発生予察注意報第5号による。

3. アブラムシ類

- (1) 予報内容
発生程度 並
- (2) 予報の根拠
12月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.3%(1.6%)、発生圃場率は14.8%(14.8%)であった。

4. ハダニ類

- (1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.7%(4.2%)、発生圃場率は7.4%(31.9%)であった。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(0.7%)、発生圃場率は8.3%(8.3%)であった。

2. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.04%、発生圃場率1.0%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は10.7%(6.7%)、発生圃場率は66.7%(48.5%)であった。

【参考】

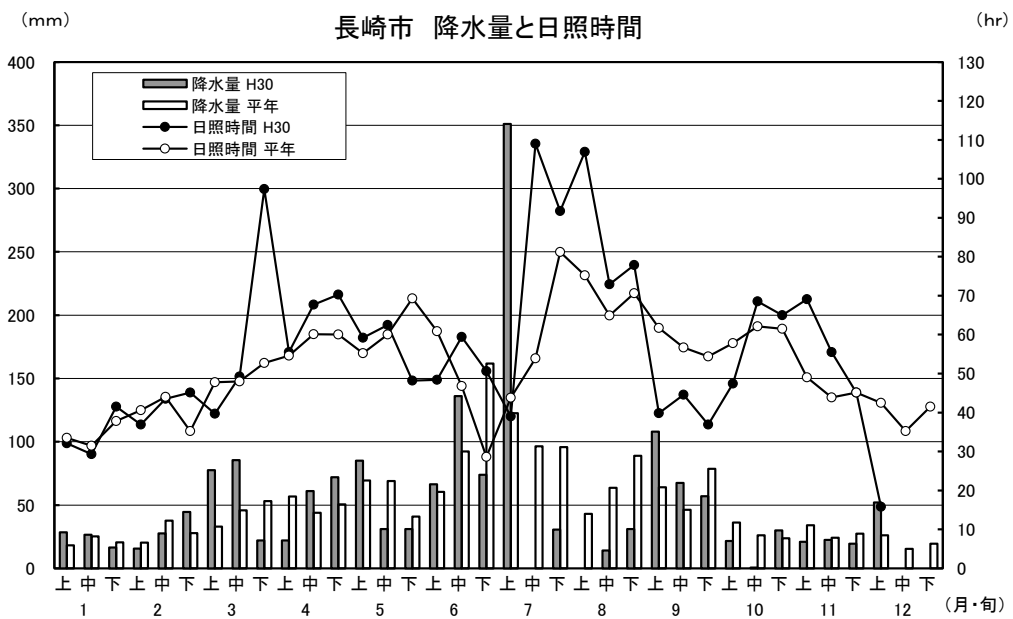
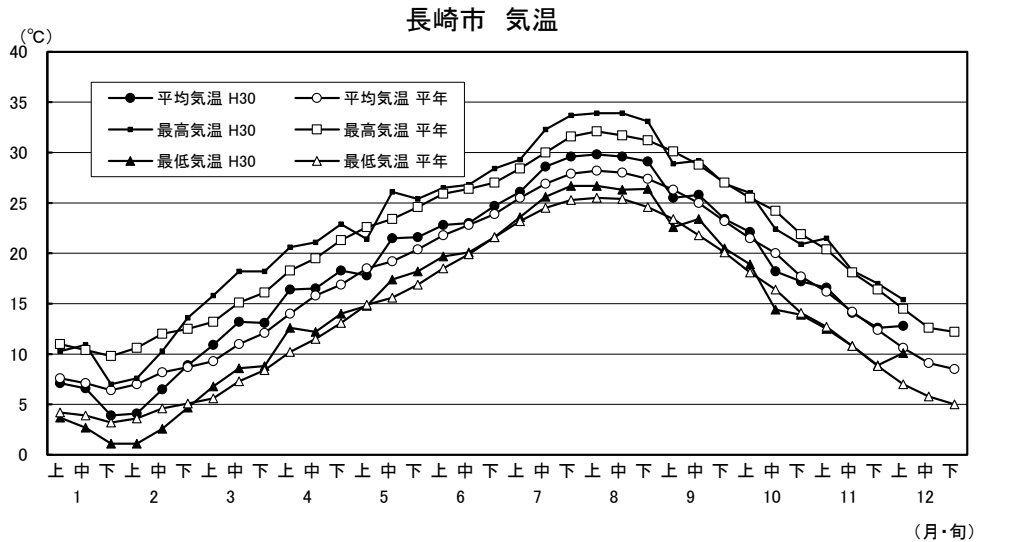
(平成30年12月13日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	30	50
降水量	20	40	40
日照時間	40	30	30

※予報対象地域：九州北部地域

平成30年の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病虫害防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

